

思考実験

バス路線新設から考える「公平」「正しさ」

Q1 バス路線新設をめぐる、はるの市の状況を確認してみよう。(→ p.37【Ⅱ】)

【設定】あなたは「はるの市」で、市営バスの担当をしている職員です。

若木地区

バス路線を
新設したい

はるの市のバス担当

さくら野地区

これで通院
しやすい！

若木地区には病院があるし
若木地区にしよう！

私たちに
バスは
必要です！

こっちの方が
住民が多いのに
不公平だ！

1 路線分の
予算しかないし
どうすれば…

①はるの市の「若木地区」と「さくら野地区」には公共交通機関がない。「若木地区」には病院があり、通院する市民、とりわけ病状の重い病人や高齢者はタクシーを利用するしかなく、不便で困っている。

②そこで「若木地区」にバス路線の新設を計画し、市議会で予算が認められた。

③ところがそれを公表したところ、「さくら野地区」の住民からバス路線新設の要望が出た。「さくら野地区」には多くの住民が暮らしている。

④市議会で認められた予算は1路線分しかない。どちらの地区にバス路線を新設すべきだろうか。

(1) 次のはるの市民(A～D さん)の意見は、どの哲学者の考えに近いだろうか。近い意見と考えを線でつなごう。(→ p.38【Ⅳ】)

ベンサム 功利主義 「最大多数の最大幸福」 (幸福の量の多さ) → p.28	J.S. ミル 功利主義 「高尚な快楽」 (質の高い幸福) → p.29	カント ドイツ観念論 「理性に基づく道徳法則」 (動機によさ) → p.27	アリストテレス 現実主義 「最高善」(美德) → p.23
---	---	---	-------------------------------------

バスがあったほうが便利だけど、自分は車を運転できる。高齢者が多い「若木地区」にバス路線を新設した方が、市全体の満足度は高まるだろう。

A さん

母は膝が悪く、週に2～3回は注射を打ちに病院に行かなければならない。母は車を運転できないので、はるの駅からバスで「若木地区」の病院に行けたら非常に助かる。

B さん

市長の言うように、人口の多い「さくら野地区」にバス路線を新設する方が、より多くの人の利便性を高められる。私も子どもとバスに乗って出かけたたい。

C さん

そもそも、病院に通院する市民が困っているからバス路線の新設を計画したのだから、困っている人を助けたいという本来の動機が重要だと思う。

D さん

年	組	番	名前
---	---	---	----

(2) 市民(A～D さん)や市長、財政担当者の声を踏まえて、論点を整理してみよう。

	若木地区に設置(人口100人、病院あり)	さくら野地区に設置(人口500人)
長 所		
短 所		

Q2 自分の意見をまとめ、他の人の意見も聞いてみよう。

(1) 理由と共に自分の意見を書いてみよう。

私は _____ 地区にバス路線を新設します。

なぜなら _____

_____ からです。

(2) 他の人の意見を聞いて、考えたことを書いてみよう。